

9 予算執行状況について（税込み）

予算執行の状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入

（単位：円、％）

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B)－(A)	執行率 (B)/(A)×100
水道事業収益	822,396,000	818,785,730	-3,610,270	99.6
営業収益	800,015,000	795,473,729	-4,541,271	99.4
営業外収益	22,380,000	23,312,001	932,001	104.2
特別利益	1,000	0	-1,000	0.0
鶴形簡易水道事業収益	8,748,000	8,496,673	-251,327	97.1
営業収益	7,678,000	7,430,333	-247,667	96.8
営業外収益	1,069,000	1,066,340	-2,660	99.8
特別利益	1,000	0	-1,000	0.0
合 計	831,144,000	827,282,403	-3,861,597	99.5

水道事業会計の収益的収入の決算額は827,282,403円で、予算現額と比較して3,861,597円（0.5％）の減となっている。

①水道事業収益

水道事業収益の決算額は818,785,730円で、予算現額と比較して3,610,270円（0.4％）の減となっている。この主な内容は、営業収益では給水収益755,578,069円、下水道使用料徴収事務受託収入36,809,050円であり、営業外収益では他会計補助金22,098,961円である。

②鶴形簡易水道事業収益

鶴形簡易水道事業収益の決算額は8,496,673円で、予算現額と比較して251,327円（2.9％）の減となっている。この主な内容は、営業収益では給水収益7,409,333円、営業外収益では他会計補助金1,066,340円である。

③収入状況

◇給水収益の収入状況

給水収益現年度分の収入率は水道事業が98.1％、鶴形簡易水道事業が99.0％となっている。前年度と比較してみると、水道事業は0.1ポイント向上し、鶴形簡易水道事業は同率となっている。

水道事業の給水収益繰越分の未収入額は8,271,188円で、前年度より799,143円減少している。また、不納欠損後の調定額23,960,947円に対する収入率は65.5％で、前年度に比較して3.1ポイント向上した。ここ数年、滞納繰越分の未収金額は毎年減少してきているが、未だ800万円以上の未収金額となっている。

鶴形簡易水道事業の給水収益繰越分の収入率は100.0％で、未収入額はない。

収入状況の内訳は、次の表のとおりである。

(単位：円、%)

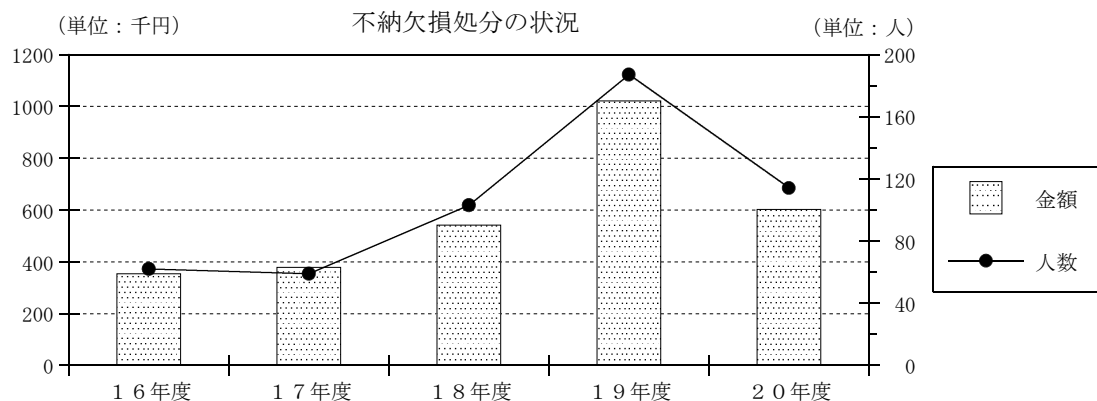
区 分			調 定 額	不納欠損額	差引調定額	収 入 額	未 収 入 額	収入率
現 年 度	水道事業	営 業 収 益	795,473,729	0	795,473,729	781,171,858	14,301,871	98.2
		給 水 収 益	755,578,069	0	755,578,069	741,276,198	14,301,871	98.1
		その他の営業収益	39,895,660	0	39,895,660	39,895,660	0	100.0
		営 業 外 収 益	23,312,001	0	23,312,001	23,312,001	0	100.0
		計	818,785,730	0	818,785,730	804,483,859	14,301,871	98.3
鶴形簡易水道事業	営 業 収 益	7,430,333	0	7,430,333	7,359,793	70,540	99.1	
	給 水 収 益	7,409,333	0	7,409,333	7,338,793	70,540	99.0	
	その他の営業収益	21,000	0	21,000	21,000	0	100.0	
	営 業 外 収 益	1,066,340	0	1,066,340	1,066,340	0	100.0	
	計	8,496,673	0	8,496,673	8,426,133	70,540	99.2	
小 計		827,282,403	0	827,282,403	812,909,992	14,372,411	98.3	
繰 越 分	水道事業	営 業 収 益	25,611,914	601,544	25,010,370	16,739,182	8,271,188	66.9
		給 水 収 益	24,562,491	601,544	23,960,947	15,689,759	8,271,188	65.5
		その他の営業収益	1,049,423	0	1,049,423	1,049,423	0	100.0
		営 業 外 収 益	16,516,848	0	16,516,848	16,516,848	0	100.0
		計	42,128,762	601,544	41,527,218	33,256,030	8,271,188	80.1
鶴形簡易水道事業	営 業 収 益	76,639	0	76,639	76,639	0	100.0	
	給 水 収 益	76,639	0	76,639	76,639	0	100.0	
	その他の営業収益	0	0	0	0	—	—	
	営 業 外 収 益	0	0	0	0	—	—	
	計	76,639	0	76,639	76,639	0	100.0	
小 計		42,205,401	601,544	41,603,857	33,332,669	8,271,188	80.1	
合 計			869,487,804	601,544	868,886,260	846,242,661	22,643,599	97.4

◇不納欠損の状況

不納欠損処分額は601,544円で、前年度に比較して418,475円(41.0%)の減であり、いずれも水道事業分である。対象者は114人（法人を含む）で、前年に比較して73人の減となっている。

不納欠損の理由は、無届転居が88件、倒産・廃業が8件、死亡11件、消滅時効7件となっており、金額が減少した主な要因は、無届転居が前年度に比較して68件減少したことによる。

不納欠損の推移は、次のグラフのとおりである。



(2) 収益的支出

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執 行 率 (B) / (A) × 100
水 道 事 業 費 用	812,920,000	803,650,475	-9,269,525	98.9
営 業 費 用	605,547,000	596,413,818	-9,133,182	98.5
営 業 外 費 用	207,273,000	207,224,840	-48,160	100.0
特 別 損 失	100,000	11,817	-88,183	11.8
鶴形簡易水道事業費用	8,094,000	7,867,739	-226,261	97.2
営 業 費 用	5,902,000	5,727,639	-174,361	97.0
営 業 外 費 用	2,191,000	2,140,100	-50,900	97.7
特 別 損 失	1,000	0	-1,000	0.0
合 計	821,014,000	811,518,214	-9,495,786	98.8

収益的支出の決算額は811,518,214円で、予算現額と比較して9,495,786円（1.2%）の減となっている。

水道事業費用の決算額は803,650,475円で、予算現額と比較して9,269,525円（1.1%）の減となっている。また、鶴形簡易水道事業費用の決算額は7,867,739円で、予算現額と比較して226,261円（2.8%）の減となっている。

営業費用の主な内容は、人件費、配水設備の修繕料、浄水場の維持管理委託料、減価償却費等で、営業外費用の主な内容は、企業債の支払利息及び納付消費税等である。

(3) 資本的収支

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執 行 率 (B) / (A) × 100
資 本 的 収 入	533,351,000	493,707,827	-39,643,173	92.6
水 道 事 業	533,351,000	493,707,827	-39,643,173	92.6
鶴形簡易水道事業	0	0	—	—
資 本 的 支 出	863,140,000	819,383,857	-43,756,143	94.9
水 道 事 業	862,875,000	819,126,797	-43,748,203	94.9
鶴形簡易水道事業	265,000	257,060	-7,940	97.0
差 引	-329,789,000	-325,676,030	—	—

資本的収入及び支出の決算額は、収入493,707,827円、支出819,383,857円であり、予算の執行率は、収入92.6%、支出94.9%である。予算と決算の差額のうち、収入は39,762,000円、支出は41,394,000円が翌年度へ繰り越しされており、これは管路近代化事業の工事費分である。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）325,676,030円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。補てん財源は、水道事業及び鶴形簡易水道事業ごとに管理され、内訳は次のとおりである。

（単位：円）

		補てん財源額	補てん額	残 額
水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	7,327,617	7,327,617	0
	減 債 積 立 金	1,364,000	1,364,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	218,614,801	218,614,801	0
	当年度分損益勘定留保資金	288,986,800	96,289,104	192,697,696
	減 価 償 却 費	287,763,457		
	資 産 減 耗 費	1,223,343		
	当年度未処分利益剰余金	50,548,622	0	50,548,622
	計	566,841,840	323,595,522	243,246,318
鶴形簡易水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	11,900	11,900	0
	減 債 積 立 金	1,000	1,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	2,067,608	2,067,608	0
	当年度分損益勘定留保資金	2,657,242	0	2,657,242
	減 価 償 却 費	2,657,242		
	資 産 減 耗 費	0		
	当年度未処分利益剰余金	4,492,486	0	4,492,486
	計	9,230,236	2,080,508	7,149,728
合 計	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	7,339,517	7,339,517	0
	減 債 積 立 金	1,365,000	1,365,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	220,682,409	220,682,409	0
	当年度分損益勘定留保資金	291,644,042	96,289,104	195,354,938
	減 価 償 却 費	290,420,699		
	資 産 減 耗 費	1,223,343		
	当年度未処分利益剰余金	55,041,108	0	55,041,108
	計	576,072,076	325,676,030	250,396,046

前項の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額576,072,076円に対し、資本的収支の不足額は325,676,030円であり、残り250,396,046円が翌年度へ繰り越されることになる。

また、前項の表で積算した補てん財源額を実際に補てん財源として使用する場合は、それに見合った内部留保資金が必要とされ、通常次のとおり算出される。

（単位：円）

前年度（平成19年度末）の流動資産－流動負債－未収金－貯蔵品	277,052,218
当年度分損益勘定留保資金＋当年度未処分利益剰余金	346,685,150
補てん可能額合計	623,737,368

当年度の資本的収支の不足額325,676,030円に対して、補てん可能額は623,737,368円となっていることから、十分補てんできる状況にある。なお、この補てん財源については、予算計上時に制約を受けるものであり、決算時に結果として補てん財源額の不足もしくは補てん可能額を上回って補てんしたとしても、直ちに不適切であるとされるものではない。

(4) 資本的収入

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執 行 率 (B) / (A) × 100
資 本 的 収 入	533,351,000	493,707,827	-39,643,173	92.6
企 業 債	432,700,000	402,900,000	-29,800,000	93.1
出 資 金	800,000	800,000	0	100.0
国 庫 補 助 金	50,625,000	40,663,000	-9,962,000	80.3
他 会 計 補 助 金	5,652,000	5,651,733	-267	100.0
他 会 計 負 担 金	4,872,000	4,872,000	0	100.0
工 事 負 担 金	38,702,000	38,821,094	119,094	100.3

①企業債

企業債の決算額は402,900,000円で、未執行額の29,800,000円は翌年度へ繰り越す管路近代化事業への充当分である。当年度の借入額には繰上償還に伴う借換債267,300,000円が含まれている。

②出資金

出資金の決算額は800,000円で、これは、北東部地区配水管布設に係る一般会計出資金である。

③国庫補助金

国庫補助金の決算額は40,663,000円で、未執行額9,962,000円は翌年度へ繰り越す管路近代化事業への充当分である。この内訳は、北東部地区配水管布設に係る国庫補助金800,000円、管路近代化更新事業に係る国庫補助金29,352,000円である。また、老朽管更新事業に係る国庫補助金10,511,000円は、前年度から繰り越された事業への充当分である。

④他会計補助金

他会計補助金の決算額は5,651,733円で、山瀬ダム建設負担金に係る元金相当分である。

⑤他会計負担金

他会計負担金の決算額は4,872,000円で、単口消火栓新設及び更新負担金である。

⑥工事負担金

工事負担金の決算額は38,821,094円で、主な内容は、下水道工事に伴う配水管移設分27,574,544円で、このうち7,686,000円は前年度から繰り越された事業への充当分である。
その他、中川原橋架替に伴う配水管移設分9,326,100円などである。

(5) 資本的支出

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B)－(A)	執 行 率 (B)/(A)×100
水道事業資本的支出	862,875,000	819,126,797	-43,748,203	94.9
建設改良費	338,440,000	294,691,799	-43,748,201	87.1
企業債償還金	524,435,000	524,434,998	-2	100.0
鶴形簡易水道事業資本的支出	265,000	257,060	-7,940	97.0
建設改良費	265,000	257,060	-7,940	97.0
企業債償還金	0	0	0	-
合 計	863,140,000	819,383,857	-43,756,143	94.9

①建設改良費

水道事業の建設改良費の決算額は294,691,799円で、予算の執行率は87.1%となっている。
この内訳は、建設費95,361,368円、管路近代化事業費191,100,891円、繰越建設改良費7,686,000円、機械及び装置543,540円である。主な工事については、決算附属書類の「2. 工事(1)建設改良工事等の概況」に記載されているとおりである。

なお、水道事業の資本的支出の未執行額43,748,203円には、地方公営企業法第26条の規定による予算の翌年度繰越額41,394,000円が含まれている。

鶴形簡易水道事業の建設改良費の決算額は257,060円で、この内訳は水道施設情報管理システム保守業務委託等である。

②企業債償還金

水道事業の企業債償還金の決算額は524,434,998円で、このうち267,747,882円は繰上償還によるものである。

(6) 予算議決事項

予算第5条企業債、第6条一時借入金、第7条議会の議決を経なければ流用することができない経費、第8条他会計からの補助金、第10条たな卸資産の購入限度額については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

(単位：円)

区 分	議 決 額	執 行 額	比 較 増 減
企 業 債	432,700,000	402,900,000	-29,800,000
一 時 借 入 金	300,000,000	0	-300,000,000
職 員 給 与 費	99,134,000	97,708,628	-1,425,372
交 際 費	20,000	0	-20,000
他 会 計 補 助 金	28,818,000	28,817,034	-966
た な 卸 資 産	9,238,000	7,996,851	-1,241,149